

事業者：Fresh Gateway Fukuoka 推進協議会

計画概要

精米や茶等の九州農産物・農産加工品について、コスト・輸送日数・品質維持の観点を踏まえ、ブラジル向け輸出における最適な輸送ロット設計・梱包条件・品質保持手法・輸送手段（空輸や海上輸送）等を検証することで、他地域・他品目にも展開可能かつ持続可能な輸出物流モデルを構築し、輸出物流の高度化を図る。

目標

同協議会メンバーの活動により、
目標年度（2029年度）までに以下の目標を達成する。

- ・福岡空港利用輸出額：360万円
- ・ブラジル向け輸出回数（空輸）：3回
- ・博多港利用輸出額：1億4,400万円
- ・ブラジル向け輸出回数（船便）：12回

食料システムへの寄与

空輸と海上輸送を組み合わせた最適な輸出物流モデルを構築することで、輸送コストの低減と九州農産物・農産加工品の安定供給を図り、輸出事業者の収益性向上に寄与する。

また、国内生産者の販路拡大による収益機会の増加や持続可能な食品流通に寄与する。

計画のイメージ



(2026年6月17日認定)